

工学部分野横断PBLプログラム～防災と減災～

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2026年02月16日 ～2026年02月25日	日本	クレルモン工科大学	<ul style="list-style-type: none"> ・機械工学科、基幹機械コース、機械機能工学科、先進機械コース、材料工学科、環境・物質工学コース、応用化学科、化学・生命工学コース、電気工学科、電気・ロボティクスコース、情報通信工学科、情報通信コース、電子工学科、先端電子工学コース、土木工学科、都市・環境コース、情報工学科、情報工学コース、機械工学科、機械工学科、先進国際課程・学部1年生、学部2年生、学部3年生、学部4年生 	(芝浦工業大学) 学生27名、学生バイト4名、 教員1名 (クレルモン工科大学) 学生12名、教員2名	伊代田 岳史(土木工学課程 都市・環境コース)



図1 全体写真

課程制始動に伴い、工学部全体を横断した分野横断プログラムとして初めて開講したPBLとなります。フランスクレルモン工科大学から12名、芝浦工大からはIGPを含む27名、合計39名の参加者で実施いたしました。工学部各課程の19名の教員が講義や議論・実習などを担当し、それぞれ専門分野から見た災害に対する防災・減災などについて学んでいただきました。また毎日学生スタッフが1名サポートについていただき、運営いたしました。最終日には、3時間にもわたって7つの班からの議論結果をプレゼンしていただき、活発な議論もなされました。日本の参加学生は、ヨーロッパの雰囲気を味わうとともに、災害について大きく異なる状況を把握できたこと、および広い知見で物事を考え、さらに多くの友人を作ることができたと考えています。終了後のアンケートでは参加学生から非常に高い満足度を得ることができました。



図2 プログラム概要



図3 グループワーク 1



図4 講義風景



図5 グループワーク 2